

## 「夢を志に」

校長 大竹 実



第154号  
平成28年7月13日  
さいたま市立浦和  
高等学校・中学校PTA  
広報委員会発行

Municipal Urawa a PTA News Letter.

この四月に校長として着任いたしました大竹実と申します。どうぞよろしくお願いたします。また、PTAの皆様には、日頃より、本校に対し多大なご協力、ご支援をいただいておりますことを改めて感謝申し上げます。

さて、私が本校に着任し始めて高校の校長室に足を踏み入れると、そこには歴史を感じさせる机や金庫とともに、今の生徒たちの活

躍を示す、全国高等学校サッカー選手権大会の優勝トロフィーや全国高校生英語スピーク大会の優勝旗などが飾られていました。長い歴史の上に、今の市立浦和中学校・高等学校の躍進があることを改めて確認するとともに、校長としての責任も新たにしたいところでもあります。

本校は、平成十九年に浦和中学校を併設し、中高一貫校として今年に創立十周年を迎える節目の年となります。全国レベルで活躍する部活動とともに、進学実績にも生徒たちの頑張りは着実に表れ、難関といわれる大学にも多数の合格者を出しています。生徒たちには、大きな夢を持ち、それを志にまで高めて充実した学校生活を送って欲しいと願っています。

そして、「チーム市立浦和」として、中高合同の学校行事や合同で行う部活動、中から高への学習を滑らかに引き継ぐ「つなぎ学習」など、生徒も教職員も中高のつながりを意識し、その絆をさらに強くしてゆきたいと考えています。

PTAの皆様には、今までと変わらない本校へのご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

### 着任のいしばし

四月よりお世話になっております  
教頭のいしばしです。

看護専門の県立常盤高校から転任して参りました。さいたま市や埼玉県はもとより、全国から注目される市立浦和高校に勤務できることを大変嬉しく思っております。いわゆる難関校と呼ばれる大学への現役合格という進学実績のみならず、運動部、文化部の活躍や国際交流、学校行事の盛り上がりなど、どれをとってもレベルと質の高さに驚かされます。それは、七十年余りの伝統によるものなのか、それとも、市高生なら誰もが持つ矜持がそうさせるのでしょうか。何よりも今は、市高生の表情の爽やかさ、凛とした態度に、ただただ感動を覚えております。

生徒の皆さん、先生方が、充実した学校生活を送ることができるよう、誠心誠意努めてまいりたいと存じます。よろしくお願いたします。



いしばし 教頭 年 秀 砥